

1 級合格体験談

J. S. さん

幼少期からの異文化への好奇心と就職活動を通じ、国際線のグランドスタッフとして内定を頂いたことが観光英検を受験する大きなきっかけとなりました。

語学力だけでなく、国内外の著名な建造物から日本も含めた各国の多様な生活習慣や物事の考え方といったような「目に見える文化から目に見えない文化」までも学べる観光英検に他の語学試験にはない特別な魅力を感じました。

また、仕事を通じお客様へ質の高いサービスを提供するためにも国内外の観光への知識が不可欠だと思い挑戦しました。

試験に向けては、主に図書館で「世界遺産図鑑」を借り、各国の世界遺産の特徴を自分でまとめることで多様な歴史やその国独自に見られる固有の文化への理解を深めました。その上、要約した内容を自らで英訳し繰り返し発音することで1級の2次試験へ備えました。時にはテレビやインターネットを通じ視覚的に各国の文化を知ること、より楽しんで学習に取り組みました。

まもなく、新社会人として空港で各国の多様な人々の旅行の一場面に携わることになりますが、観光英検から学んだ多様な異文化の知識を活かし、また、今後とも磨き、将来は世界でも通じる真の観光人を目指していきます。

S. H. さん

私は主婦ですが、20年ほど前に横浜港の通訳ボランティアになり、外航客船入港時にカウンターで観光案内の手伝いなどをしております。地元横浜や隣接の鎌倉はもとより、東京やTDR等の近隣や次の寄港地の観光情報まで、また「新幹線乗車体験」、「富士山」、「雪遊び」、「〇〇というお菓子の購入」、「公衆電話での海外コ

レクトコール」などお客様の多様なご要望とご質問に即応を要求されています。

‘90年代の半ばに通訳案内業免許取得や、(当時あった)旅行業英検 GRADE-A 認定のため一通りこの分野を勉強したつもりでしたが、子育ての間に忘れてしまったことは多く、現場で求められる情報のアップデートをしたり、観光行政等を改めて学ばなければと痛感していました。

子育てが一段落したので、かねて存じていたこの観光英語検定をてこにして再度勉強をと決意しました。手始めに昨年度2級の受験にとりかかり、過去問題集で準備し、無事合格できました。今年度は1級にチャレンジとなり、「観光英語検定試験1級解説書」を取り寄せました。見るとこれが手強そうでした。特にこれまでアウトバウンドの勉強経験がなく、一般海外旅行者的な知識(行ったことがあるところなら少し知っている程度)しかなかったので、HPの合格体験談を参考に準備しました。一次試験突破のために、「海外旅行地理検定試験」と「旅行管理者試験(実務英語)」用の問題集で観光英検に似ていると思われる箇所を学習、また茅ヶ崎方式月刊時事英語教本の1年分のバックナンバーから観光関連分野をピックアップして読み直しました(小笠原世界遺産登録がリスニング問題に出題されたのでやってよかったです)。

2次試験には、解説書を頼りに国内のガイドの方に絞って、想定問答を用意して臨みました。面接試験では、緊張のため対策通りにはしゃべれませんでした。合格をいただけてうれしいです。

観光英検は回数を重ねていて、内容が実務に即した良い試験だと思いますので、ボランティア仲間にこの試験のことをお勧めしたいです。

E. Y. さん

私が観光英検を受けた動機は、今春から社会人になり、外資系ホテルで働くからです。ゲストの7割以上が海外からのお客様という場所で働くにあたり、今後、仕事に生かせるであろうという想いと、自分の力試しに1級にチャレンジしました。

試験のために特に何かをしたということはありません。ただ、海外のホテルに行った際、英語の表現を注意して聞いてみたりしていました。また、羽田空港でアルバイトをしており、日常的に空港で使われる英語を耳にしていたり、自分自身も英語での道案内や様々な場面に遭遇することが多かったため、日頃の積み重ねが合格につながったのだと感じています。

二次のスピーキングでは、留学経験が役立ったと思います。日頃からネイティブと話しをすることで、一度話し始めてしまえば、緊張をとくとき、会話を楽しむことが出来ました。「習うより、慣れろ!!」だと思いました。

M. I. さん

私が観光英検を受けるきっかけとなったのは、就職活動の末、旅行会社に入社することを決めたことでした。私の就職先では、添乗業務も必須業務だったので、添乗した時に自信を持ってお客様をご案内できるよう、観光英検を通して知識を身につけていこうという考えでした。

実際に観光英検1級の筆記・リスニングの過去問を解いてみると、それまでのTOEICなどの勉強を通してでは得られない業界英語や、言い回し、また海外都市での観光地、概略が合わせて紹介されていて、添乗員を目指す私としてはまさに一石二鳥といった問題ばかりでした。

テキストの他には、観光ブックなど楽しんで読みながらも、知識が身につく教材を使って勉強し、実際に自分がその地を訪れたような気持ちになれば、自然と忘れず頭に記憶すること

ができました。この勉強法で、みごと1級に合格！仕事への自信と期待が益々ふくらみ、4月の入社に備え、毎日過ごしています。

S. M. さん

私は、英語と旅行・観光にとっても興味があり、国際系大学に通っています。私の地元は、観光地ということもあって、全国各地から、また、外国からも観光客が訪れる街です。もっと世界中からたくさんの人に来てもらい、観光案内ができればと思ったのが、観光英検を受けた動機です。

学習方法は、観光英検の問題集を解いて、初めて知った地名や観光名所をノートに書き、地図でその場所を必ず確認することです。地図を活用することでより覚えやすくなります。また、私は、世界遺産や国立公園に興味があり、普段から写真集や雑誌をよく見ていたので、そのことも試験に役立ったと思います。

あまり“試験勉強”だと思わずに、自分の趣味の一環として楽しんでやってみてはいかがでしょうか。